

昭和二十五年十二月八日受領
答弁第一三五号

(質問の 一三五)

内閣衆質第一三五号

昭和二十五年十二月八日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 幣原喜重郎殿

衆議院議員横田甚太郎君提出輸入食糧と国内産食糧の量及び金額に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員横田甚太郎君提出輸入食糧と国内産食糧の量及び金額に関する質問に対する答弁書

終戦後昭和二十四年三月までの食糧輸入は、すべてガリオア資金によつていたため、正確な輸入総額を示すことは困難である。

昭和二十四年四月から商業資金による輸入が開始され、民間輸入は逐月増加したが、昭和二十五米穀年度(昭和二十四年十一月—昭和二十五年十月まで)の輸入総額は概ね次の通りである。

米	七六、〇百万ドル
小麦	五六、〇〃
大麦	一二、五〃
計	一九四、五〃

但し、右の数字には、昭和二十五年十月の分は含まれていない。なお、終戦後の輸入量の実績は別表一

の通りである。

右答弁する。